

観光振興（日本遺産「箱根八里」、三嶋大祭り）について

アナ： 「市長が語る 2019 三島」第 20 回の今日は、日本遺産「箱根八里」と「三嶋大祭り」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願ひします。

市長： よろしくお願ひします。

アナ： さて、最初に「箱根八里」とは何か教えてください。

市長： はい。江戸時代に日本の大動脈として江戸から京都までを結んでいた東海道の内、小田原宿から箱根宿、そして、箱根峠を超えて三島宿までの八里、約 32 キロを、その距離にちなんで「箱根八里」といいます。

アナ： 昨年 5 月に、その「箱根八里」が日本遺産に認定されたと伺いました。

市長： そのとおりです。日本遺産とは、有形無形の文化的資源を一つのテーマ、ストーリーでとらえ、文化財の活用とそれを通じた地域活性化をねらう文化庁の取り組みです。「箱根八里」は「旅人たちの足跡 - 箱根八里で辿（たど）る遙かな江戸の旅路」のストーリーで認定を受けました

アナ： 文化庁にも認められた「箱根八里」の魅力とは一体何でしょうか。

市長： 「箱根八里」の魅力は、旧東海道沿いに江戸時代そのままの街道の風景が残っていることです。石畳道（いしだたみ みち）を辿（たど）ると、宿場や茶屋、関所や並木、一里塚などが現れ、江戸時代の旅を追体験できます。

アナ： たしかに、江戸時代の旅をそのまま体験できるなんて他にはないですね。日本遺産認定後はどのような取り組みをされたのでしょうか。

市長： 小田原市、箱根町、函南町と連携して、昨年度から情報発信に重点的に取り組んでいます。「箱根八里」の道筋を紹介した散策用地図兼パンフレットの作成や、日本在住の外国人記者に「箱根八里」を体験するツアーに参加していただき、その様子を各国のメディアで取り上げてもらいました。今年度も引き続き「箱根八里」の観光活用によって地域の活性化を目指します。

アナ： 文化財を活用し、地域の活性化を目指した市町を超えた取り組みに今後も期待しています。

さて、三島の夏の風物詩「三嶋大祭り」がいよいよ開催目前です。改めてどのようなお祭りなのか教えてください。

市長： はい。三嶋大祭りは毎年 8 月 15 日から 17 日までの 3 日間開催されます。古くから伊豆国一ノ宮である三嶋大社の例祭と地域の行事を重ねて行われてきた経緯があり、現在では、例年 50 万人もの方が訪れる三島市最大のイベントです。

アナ： 様々な催しが予定されていると思いますが、今年が一番の見どころを教えてください。

市長： はい。2 日目の 16 日に行われる「源頼朝公 旗挙げ行列」が毎年好評いただいております。例年、頼朝役を芸能人の方にお願ひしており、今年も頼朝役は、映

画やCMで大活躍の人気俳優、滝藤賢一（たきとう けんいち）さんに務めていただきます。是非ご期待ください。また、各日のクライマックスに繰り上げられる当番町による山車の競り合いも必見です。

毎年、当番町同士の意地と意地がぶつかり合う シャギリは 圧巻の光景です。

アナ： なるほど。とても楽しみです。三島市民のお祭りに対する熱い気持ちが伝わってきます。

市長： はい。三嶋大社から三島広小路駅までの約700メートルの大通りが歩行者天国となり、街中がお祭り一色に染まります。1日目は山車とシャギリの日、2日目は伝統芸能の日、3日目は踊りの日と 日によってテーマが変わるのも特徴です。

アナ： 日によってテーマが違うのも面白いですね。市民の方も市外から来られる方も、三嶋大祭りをきっと楽しみにしていると思います。その他、取り組み等ありますか。

市長： はい。また、三嶋大祭りは beyond2020(びよんど にいぜろ にいぜろ)プログラムの認証を取得しています。これは、三嶋大祭りが、歴史・文化・伝統の点で優れており、次世代に誇れるレガシーを創出する文化プログラムであることを東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会 推進本部事務局に認められたこととなります。

日本そして三島の歴史・文化・伝統をこれまで以上に世界に向けて発信し、次世代へのレガシーとして引き継いでまいります。ぜひ「三島の夏」を3日間 存分に満喫していただければ幸いです。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。